

令和 7 年度

# 運営に関する計画

大阪市立都島小学校

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 令和3年度末の校内調査において、「学校のきまりを守っている」という項目に対して肯定的な回答をした児童は、89.3%である。大阪市平均は90%を超えているので、この数値を90%以上にして、規範意識を高める必要がある。そして、当たり前のことを当たり前にできるようにするための指導を継続する必要がある。
- 令和3年度の大阪市小学校学力経年調査において、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という項目に対して最も肯定的な回答をした児童は、51.5%である。大阪市の平均が37%となっており、10%以上上回っている。話し合う活動をより活発にし、思考の可視化を行い、積極的に自分の考えを述べる子どもを育成することで、この数値を60%以上とする。
- 令和3年度末の校内調査において、「読書が好きだ」という項目に対して「そう思う」と回答をした児童は、61.5%である。大阪市の平均は74.3%となっている。本に親しむ活動を取り入れることで、読書が好きな児童を大阪市平均以上にし、言語力向上に努めていく。
- 令和3年度末の校内調査において、「休み時間は、よく遊んだり、運動したりしていますか」という問いに対して、最も肯定的な「好き」と答える児童は、66.6%である。授業などを通して、多様な動きを経験させることで「体を動かすことが楽しい」「運動することが楽しい」と思う児童を育成する必要がある。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和4年度～令和7年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、必要な対応をした割合を令和7年度末には100%にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、「学校の決まりを守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を令和3年度末より増加させる。  
令和3年度末→本校86.6% 大阪市→90.3% を令和7年度末には肯定的に答える本校の児童の割合を90%以上にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童の割合を全児童の1%以下にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、不登校児童の個々のケースについて、必要な対応をした割合を毎年100%にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査において、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の問いに関して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、60%以上にする。（令和3年度末51%）
- ・小学校学力経年調査における4教科（3，4年生）、5教科（5，6年生）の正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント

令和3年度末の実態

社会：3年生→1.01 4年生→1.01 5年生→1.04 6年生→1.02

理科：3年生→0.97 4年生→1.00 5年生→1.04 6年生→0.97

英語： 5年生→1.04 6年生→1.02

- ・令和7年度の校内調査において、「休み時間は、よく遊んだり、運動したりしていますか」という問いに対して、最も肯定的な「好き」と答える児童を75%以上にする。  
(令和3年度末66%)

- ・令和7年度末の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を100%にする。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにする）を満たす教員の割合を90%以上にする。

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

令和7年度末の目標 本校⇒90%

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を８８％以上にする。

令和7年度末の目標 本校⇒88%

- ・ 小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を87%以上にする。

令和7年度末の目標 本校⇒87%

- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.2 ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 50% 以上にする。

令和6年度末の結果 本校⇒47.0%

令和7年度末の目標 本校⇒50%

- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を70%以上にする。

令和6年度末の結果 本校⇒69.0%

令和7年度末の目標 本校⇒70%

- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対し、肯定的に答える児童の割合を72%以上にする。

令和6年度末の結果 本校⇒71.5%

令和7年度末の目標 本校⇒72%

- ・ 3年生から6年生の小学校学力経年調査で3,4年生4教科、5,6年生5教科の平均得点で大阪市の平均を上回る。
- ・ 小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する割合を83%以上にする。

令和6年度末の結果 本校⇒82.7%

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の85%以上にする。
- ・ 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を100%維持する。
- ・ 今年度末の児童アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、「そう思う」と答える児童の割合を58%以上にする。

令和6年度末の結果 本校⇒56%

令和7年度末の目標 本校⇒58%

#### 本年度の自己評価結果の総括

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

大阪市立都島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。            令和6年度末の結果 本校⇒89.0%            令和7年度末の目標 本校⇒90%</li> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。            令和6年度末の結果 本校⇒87.0%            令和7年度末の目標 本校⇒88%</li> <li>・小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を87%以上にする。            令和6年度末の結果 本校⇒86.0%            令和7年度末の目標 本校⇒87%</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】（登校したい教育環境）            道徳心・社会性の涵養の基本として、他者の気持ちを考え、校内外において自分以外の人を大切に思う児童の育成に努める。</p> <hr/> <p>指標 いじめについて考える日を学期に1回設定し、小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】（登校したい教育環境）            学級・学年での取り組みやたてわり班での活動を通して、すべての児童が学校に自分の居場所をみつけることができるようにする。</p> <hr/> <p>指標 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心】（特別支援教育）（人権教育）            共に学び、共に育ち、共に生きる教育を推進し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援をすることで学びを充実させる。</p> <hr/> <p>指標 児童理解研修会を年2回実施する。            小学校学力経年調査における「自分には良いところがありますか」に対する肯定的回答の割合を87%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度に向けての改善点

大阪市立都島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。  <b>令和6年度末の結果 本校⇒47.0%</b>  <b>令和7年度末の目標 本校⇒50%</b></li> <li>・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を70%以上にする。  <b>令和6年度末の結果 本校⇒69.0%</b>  <b>令和7年度末の目標 本校⇒70%</b></li> <li>・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対し、肯定的に答える児童の割合を72%以上にする。  <b>令和6年度末の結果 本校⇒71.5%</b>  <b>令和7年度末の目標 本校⇒72%</b></li> <li>・ 3年生から6年生の小学校学力経年調査で3,4年生4教科、5,6年生5教科の平均得点で大阪市の平均を上回る。</li> <li>・ 小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する割合を83%以上にする。  <b>令和6年度末の結果 本校⇒82.7%</b>  <b>令和7年度末の目標 本校⇒83%</b></li> </ul>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力向上】（授業力向上）</p> <p>「思考力・判断力・表現力等の育成」を図り、その基盤となる読解力・言語能力を育成する。一人一人の児童が自分の考えを伝えることができるようにする。一人一枚のミニホワイトボードを使い思考の可視化を行い、対話を大切にし、協働的な学びができるようにする。</p>	
指標 小学校学力経年調査における「学級における友だちとの間で話し合う活動	

<p>を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、50%以上にする。小学校学力経年調査において「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対し肯定的にとらえる児童の割合を53%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力向上】（授業力向上） 個別最適な進め、児童の学習意欲が高まる授業を実践する。3年生以上において漢字検定を行いすべての教科の基本となる基礎学力の定着を図る。</p>	
<p>指標 3年生から6年生の小学校学力経年調査で3, 4年生4教科、5, 6年生5教科の平均得点で大阪市の平均を上回り、特に国語および算数においては平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力向上】（外国語活動） C-NETとのチームティーチングで楽しく発話する活動を進める。小学校低学年からの英語教育（短時間学習）の歌、絵本、映像を活用して外国語に慣れ親しむ活動を進める。5年生以上において英検Jr.を行う。</p>	
<p>指標 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を72%以上にする。小学校学力経年調査における5, 6年生の英語の平均得点で大阪市平均を上回る。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】（体力向上） なわとび活動、かけあしタイム、大川かけ足大会の取り組みを進め、体力向上を進める。発達段階に応じた運動をする機会を授業や休み時間において提供する。</p>	
<p>指標 小学校学力経年調査における「運動やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5、健やかな体の育成】（健康教育） 心身ともに健康な学校生活を過ごすために、体内リズムを整え規則正しい生活習慣について児童・保護者に都度啓発していく。</p>	
<p>指標 小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度に向けての改善点</p>	

大阪市立都島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成 状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の８５％以上にする。</li><li>年次有給休暇を１０日以上取得する教職員の割合を１００％にする。</li><li>今年度末の児童アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、「そう思う」と答える児童の割合を５８％以上にする。</li></ul> <p>令和６年度末の結果      本校⇒５６％</p> <p>令和７年度末の目標      本校⇒５８％</p>		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組内容①【基本的な方向６、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】（ICT活用） いつでも、どこでも主体的に学べる環境を整備し、デジタルドリルや協働学習支援ツール等を効果的に活用し個別最適な学びを推進する。心の天気等により児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深める。		
指標    児童アンケートの「ICT 機器を使った学習に取り組んでいる」の項目で、肯定的に答える児童の割合を８５％以上にする。		
取組内容②【基本的な方向７、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】（働き方改革） 校務支援システムのグループウェア機能活用等を通じた ICT の活用による学校経営の効率化を図り、「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」を実現する。		
指標    ゆとりの日を週１回設定する。 年間８日以上、学校閉庁日を設定する。		
取組内容③【基本的な方向８、生涯学習の支援】（読書活動） 読書タイムを活用したり、地域人材を活用したり、児童が読みたい本を整備したりして、図書室を効果的に活用する。		
指標    児童アンケートにより「読書が好きですか」の項目について、「そう思う」児童を全体の５８％以上にする。また、１年間で一定数の本を読んだ児童（低学年は１００冊、高学年は５０００ページ以上）を５５名以上輩出する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度に向けての改善点		